



記入例

整理番号	事務所	区分	管理番号	申告区分
			1 2 3 4 5 6 7	

令和3年12月10日		法人番号		申告年月日	
南房総市長宛		1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4		年 月 日 3 1 2 1 0	
所在地	〒299-2416 南房総市富浦町青木28番地		事業種目	建設業	
(ふりがな)	かぶしがいいしや ○○		前期末現在の資本金の額 又は出資金の額	3 0 0 0 0 0 0	
法人名	株式会社 ○○		前期末現在の資本金の額及び 資本準備金の額の合算額	3 0 0 0 0 0 0	
(ふりがな)	なんぼう たろう	(ふりがな)	前期末現在の 資本金等の額	3 0 0 0 0 0 0	
代表者氏名	南房 太郎	経理責任者氏名	南房 花子		

令和3年5月1日から令和4年4月30日までの事業年度分又は連結事業年度分の市町村民税の予定申告書 \* [ ]

摘要		税額			
		十億	百万	千	円
前事業年度又は前連結事業年度の法人税割額 (19の金額)		①		2 5 2	0 0
予定申告税額 (① × $\frac{6}{\text{前事業年度又は前連結事業年度の月数}}$ )		②		1 2 6	0 0
この申告が修正申告である場合は既に納付の確定した当期分の法人税割額		③			0 0
この申告により納付すべき法人税割額 ② - ③		④		1 2 6	0 0
均等割額	算定期間中において事務所等を有していた月数	⑤	6 月		
	50,000 円 × $\frac{⑤}{12}$	⑥		2 5 0	0 0
この申告により納付すべき市町村民税額 ④ + ⑥		⑦		3 7 6	0 0

当該市町村内に所在する事務所、事業所又は寮等		当該市分の均等割の 税率適用区分に 用いる従業者数
名称	事務所、事業所又は寮等の所在地	人
		3
合計		⑧ 3

前事業年度又は前連結事業年度の法人税割額の明細		この申告の期間	令和3年5月1日 から 令和3年10月31日 まで
(特別控除取戻税額等又は個別帰属特別控除取戻税額等) 課税標準となる法人税額又は個別帰属法人税額	⑨	前事業年度又は前連結事業年度の期間	令和2年5月1日 から 令和3年4月30日 まで
法人税割額	⑩	通算親法人の事業年度の期間	年 月 日 から 年 月 日 まで
市町村民税の特定寄附金税額控除額	⑪	法第15条の4の徴収猶予を受けようとする税額	
税額控除超過額相当額の加算額	⑫	区名	区コード
外国関係会社等に係る控除対象所得税額等相当額又は個別控除対象所得税額等相当額の控除額	⑬	月数	従業者数
外国の法人税等の額の控除額	⑭	均等割額	
仮装経理に基づく法人税割額の控除額	⑮	0 0	
租税条約の実施に係る法人税割額の控除額	⑯	0 0	
納付すべき法人税割額 ⑩-⑪+⑫-⑬-⑭-⑮-⑯	⑰	0 0	
⑰のうち特別控除取戻税額等又は個別帰属特別控除取戻税額等に係る法人税割額	⑱	0 0	
差引法人税割額 ⑰-⑱	⑲	0 0	

関与税理士署名 (電話)

第二十号の三様式 (提出用) (用紙日本産業規格A4) (第十条関係)